

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	番号 ばんごう
<p>空見上げ指でつまむは夜の宝</p> <p>そらみあげゆびでつまむはよのたから</p>	<p>何でかな秋だけどうして休みなし</p> <p>なんでかなあきだけどうしてやすみなし</p>	<p>広葉樹秋に染まりて衣替え</p> <p>こうようじゆあきにそまりてころもがえ</p>	<p>秋風ふその詩詠うその人の</p> <p>あきかぜふそのうたうたうそのひとの</p>	<p>運動会 去年の秋を思い出す</p> <p>うんどうかいきよねんのあきをおもいだす</p>	<p>秋の花 ピンクや黄色カラフルな</p> <p>あきのはなぴんくやきいろからふるな</p>	<p>秋風が 秋夜の雲を銀にして</p> <p>あきかぜがしゅうやのくもをぎんにして</p>	<p>音を運ぶ 風冷たさに驚きも</p> <p>ねをはこぶかぜつめたさにおどろきも</p>	<p>虫たちよ 綺麗な音楽響かせて</p> <p>むしたちよきれいなおんがくひびかせて</p>	<p>気が付けば 目の前全て赤黄だな</p> <p>きがつけばめのまえすべてあかきだな</p>	上の句
<p>白い息吹と 光る目と指</p> <p>しろいいきふきとひかるめとゆび</p>	<p>先生たちよ 秋休みたのむ</p> <p>せんせいたちよあきやすみたのむ</p>	<p>綺麗な朱色の着物着る</p> <p>きれいなしゆいろのきものきる</p>	<p>楓狩り降る 現し世の泉</p> <p>かえでかりふるうつしよのいずみ</p>	<p>緊張おさえ 位置につきつつ</p> <p>きんちようおさえいちにつきつつ</p>	<p>コスモスたちが 大好きな花</p> <p>こすもすたちがだいすきなはな</p>	<p>現れたるのは 金の名月</p> <p>あらわれたるのはきんのめいげつ</p>	<p>声に聞き入る 秋の鈴虫</p> <p>こえにききいるあきのすずむし</p>	<p>合唱会を開いてくれよ</p> <p>がっしょうかいをひらいてくれよ</p>	<p>ふわり落ち行く 紅葉に銀杏</p> <p>ふわりおちゆくもみじにいちよう</p>	下の句
そらいち	プーさん	羽流愛	笙将信 雁伴	フロン	りおな	あおしー	マイトレイヤの変化身	あいる	AKI	作者 さくしゃ